

2023年1月19日  
株式会社日本政策金融公庫  
総合研究所

## 女性の起業関心層は「私生活との両立」を重視する傾向

～「2022年度起業と起業意識に関する調査」特別集計結果の概要～

本調査では、女性の起業への関心について分析するために、起業家・パートタイム起業家・起業関心層・起業無関心層それぞれの属性や起業関心層に対する質問結果を男女間で比較しました。主な調査結果と調査の要領は以下のとおりです。

### <主な調査結果>

#### 1 女性の7割が起業に無関心であり、そのうち3割以上が主婦(本文 2、6 ページ)

女性のうち起業無関心層は 69.1%と、男性(50.8%)を 20 ポイント近く上回る。女性の起業無関心層のうち主婦である人の割合は、34.3%に上る(図-6)。

#### 2 仕事で最も重視することをみると、女性のパートタイム起業家・起業関心層・起業無関心層は「私生活との両立」(本文 10 ページ)

仕事をするうえで最も重視することを尋ねた結果は、男性はいずれの類型でも「収入」であるのに対して、女性は起業家では「仕事のやりがい」、その他の類型では「私生活との両立」となった(図-14)。

#### 3 起業関心層のうち「10年以内に起業する」予定である割合は、男性に比べて低い(本文 12 ページ)

起業関心層のうち「10年以内に起業する」予定である割合は、女性は 7.0%と少なく、男性(19.6%)の半分以下の水準である(図-17)。48.9%が「起業するかどうかはまだわからない」と回答している。

#### 4 起業に関心をもった理由は「収入を増やしたい」(本文 13 ページ)

起業に関心をもった理由は、「収入を増やしたい」が男女ともに過半数である(図-20)。男性と比べると、「時間や気持ちにゆとりが欲しい」「家事と両立できる仕事をしたい」「年齢や性別に関係なく仕事がしたい」などの回答割合が高くなっている。

#### 5 起業に対してアイデアや知識に関する不安を挙げる女性が多い(本文 14 ページ)

女性の起業関心層がまだ起業していない理由を男性と比べると、「ビジネスのアイデアが思いつかない」「仕入・流通・宣伝など商品等の供給に関する知識・ノウハウが不足している」との回答割合が高い(図-21)。

\* 本調査の詳細につきましては、[こちら](#)をご覧ください

<調査の要領> ・調査時点:2022年11月  
・調査方法:インターネットによるアンケート  
・調査対象:全国の18歳から69歳までの人  
・回収数:3万1,554人

### <お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第一グループ TEL 03-3270-1687(担当:桑本、青木)  
〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー